

学校
だより

やま 桜

平成27年1月23日
南足柄市立北足柄小学校



平成27年のスタート... 『今年もよい年に』

平成27年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが明けて、9日(金)には全校で書初めを行いました。1~2年生は教室で硬筆による書初めを、3~6年生は体育館で毛筆による書初めを行いました。体育館では琴の調べ(「春の海」)が静かに流れ、凛としたよい緊張感のなか、子どもたちは太筆で堂々と書き上げていました。



地域では、10日(土)に内山・矢倉沢地区のどんど焼き、14日(水)に地藏堂のどんど焼きがありました。子どもたちが練習した書初めが、どんど焼きの炎に焼かれ空高く舞い上がる様子を見ながら、「今年もよい年でありますように」と願いました。

市内では、11日(日)に午前中に出初め式、午後には成人式が行われました。消防団の方たちのきびきびとした行動を見ながら、地域の安全を守る大きな役割を果たされていることに感謝をしました。

午後の成人式では、アトラクションとして足柄高校吹奏楽部のマーチングも取り入れた元気な演奏が大ホール全体に広がりました。いよいよ始まった式典では、市長さんの式辞、祝辞等があり、そのあと本校卒業生の笹田侑矢さんが新成人を代表して「新成人の言葉」を述べました。その言葉には、成人としてこれから進む未来への強い決意があらわれていて、たいへんすばらしい内容のものでした。北足柄中学校を最後に巣立った卒業生でもある北足柄地区の新成人の皆さんのこれからの、いっぱいのお幸あれ!と心からエールを送りました。



北小の校章の由来は?

校章の由来を知りたいという問い合わせがありました。調べてみると、かなり古くから校章が使われているのですが、由来についてはわかりませんでした。本校の校章には、桜の花びらがかたどられ、そのなかに「北」が書かれています。地域の方に聞いてみることにしました。何人かの方にお聞きする中で、次のようなことを教えていただきました。保護者・地域の皆様にもご紹介します。伝統ある校章の由来がわかりほっとすると同時に、うれしく思いました。

北足柄小学校の校章の由来は... 1889年の町村制の施行により、内山村・矢倉沢村・平山村等が合併して、北足柄村となりました。校庭には、地域の人たちが植え、大切にされていた山桜がありましたので、その山桜の花びらをデザイン化し、中に北足柄村の「北」の文字を入れ、校章としたそうです。

※ 内山の鈴木孝夫様より教えていただきました。ありがとうございました。



お話会(劇団ほぽ) 毎月、楽しみにしているお話会です

14日(水)は、劇団ほぽさんによる下学年向けのお話会がありました。「うさぎとかめ」の続きのお話と『かさじぞう』(パネルシアター)の二つのお話をしていただきました。子どもたちといっしょに話を聞いているうちに、物語の世界にすっかり入り込んでしまいました。毎回感じるのですが、今回も劇団ほぽのみなさんのやさしい語りか心にゆっくりと入ってききました。どちらのお話も心に残るすてきなお話で、楽しいひとときでした。次回も楽しみです。



お話会、読書タイム、子どもたちが楽しみな時間です。家でも読書の楽しみの時間が持てるように、ご協力ください。

※ **22日に、インフルエンザ発熱による欠席者が11名中6名あり、1年生は23~25日を学級閉鎖としました。今後の感染拡大防止のため、うがい・手洗い、マスク着用、十分な休養等のご配慮をよろしくお願いいたします。**

書初め 気持ちを新たに

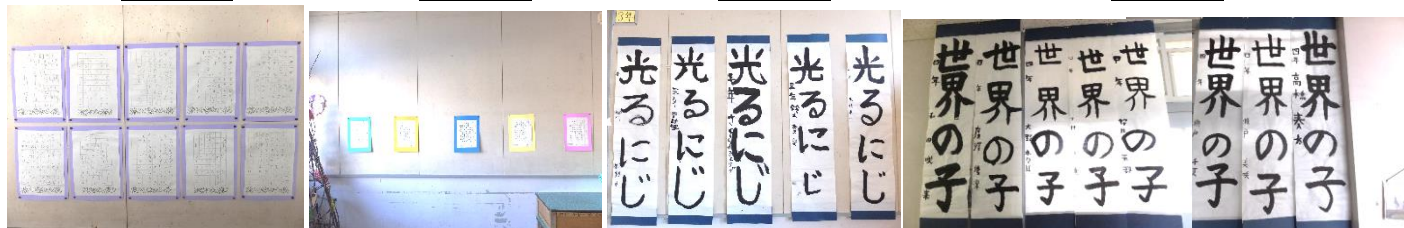
児童一人ひとりが、新年の決意を含め、丁寧に書き上げました。素晴らしい書初めとなりました。

1年

2年

3年

4年



5年

6年 各自で選んだ四字熟語

6年生が選んだ四字熟語の意味は？

それぞれの言葉に、子どもたちの決意や思いを感じました。

- ・全力投球 (ぜんりょくとうきゅう) …全力で物事に取り組むこと。
- ・日進月歩 (にっしんげつぽ) …絶えず進歩し、発展すること。
- ・疾風怒濤 (しっぷうどとう) …強い風と逆巻く荒波の意味から、行動や動作がすばやいこと。
- ・天地神明 (てんちしんめい) …天と地のあらゆる神々のこと。「天地神明に誓って…絶対に」などの使い方をする。
- ・宏大無辺 (こうだいむへん) …果てしなく広く大きいさま。
- ・一期一会 (いちごいちえ) …この出会いを一度の出会いにとらえ、互いに誠意を尽くし、大切にすること。
- ・苦尽甘来 (くじんかんらい) …苦去りて、楽来たる。苦しいときが去って、ようやく楽しい日が訪れること。
- ・一生懸命 (いっしょうけんめい) …全力で物事に当たること。
- ・疾風迅雷 (しっぷうじんらい) …速い風と激しい雷の意味から、すばやく、激しいさま。行動がすばやいこと。
- ・起承転結 (きしょうてんけつ) …起こし発展させ場面を転じ全体を締めくくると。全体を秩序正しくまとめる構成。
- ・我武者羅 (がむしゃら) …ひとつの目的に向かって、夢中になって行動すること。
- ・気炎万丈 (きえんばんじょう) …燃え上がる炎のように非常に意気盛んなこと。
- ・天佑神助 (てんゆうしんじょ) …天の助け 神の加護 思いがけないことによって助かること。

地震想定避難訓練

「地震が起きたときの3つの行動は…」

「自分の命は、自分で守る」

13日(火)、「休み時間に、突然地震が起きた！」という想定で避難訓練を行いました。そして、次のような話をしました。

ニュースのインタビューで、成人式を迎えた人が「20年前の地震で家がつぶれて、私のお母さんは亡くなりました。私はお母さんの分までしっかりと生きたいと思います。」と話していました。今からちょうど20年前の朝早く6時前に阪神淡路大震災という大きな地震がありました。この女性は奇跡的に助かり、おばあさんに育てられたそうです。また、東日本大震災で高校生だった娘さんを亡くしたお父さんが、娘さんが生きていたら出席したろう成人式の会場に行き、その様子を見守る話もありました。家族を失った悲しみを乗り越えて、前に進もうとみんながんばっているのだと思いました。でも、できるなら、家族・友だち、そして日本・世界中の人たちが地震などで命を亡くさないでほしい。だから、もし地震が起きて、命を守るために落ち着いて行動が取れるように、訓練があります。



地震はいつどこで起きるかわからない。でも、地震が起きたときどう行動すればよいかを覚えておけば、被害は小さく食い止めることができます。地震が起きたときの3つの行動を忘れずに。

物が落ちてこない、倒れてこない、動いてこない場所を見つけ、①体を低く ②頭を守る ③動かない

揺れが収まってから、安全に避難しましょう。自分の命は自分で守ること。忘れないください。